

第2次横手市総合計画 後期基本計画 各施策における指標一覧（上段:目標値 下段:実績値）

資料2-2

施策番号	施策名称	施策担当主務課	指標区分	成果指標				成果指標の取得方法(業務取得、アンケートなど)、算定式					指標管理課
				前期計画指標	後期計画指標	単位	令和元年度	令和7年度	取得方法	算定式・算定根拠	目標値の設定理由及び根拠		
1-1	子育て支援の充実	子育て支援課	成果	「児童福祉(子育て支援)の充実」に対する市民満足度		点	目標 増加	73.6	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	保育所充足率		%	目標 100.0	100.0	業務取得	施設利用定員	既存の供給量での対応が可能となっている「子ども・子育て支援事業計画」との整合性	子育て支援課	
			成果	学童保育利用定員	放課後児童クラブ利用定員		人	目標 1,215	1,429	業務取得	最大利用児童数 ≤ 利用定員数	6年生まで、待機児童なく受け入れすることができる利用定員数を指標としている。	子育て支援課
			成果	子育て支援拠点施設利用者数(子どものみ)	子育て支援拠点施設の年間利用回数(利用対象年齢児童一人当たり)		回	目標 -	6.4	業務取得	年間の平均利用回数 ※年間の延べ利用児童数 ÷ 対象年齢児童数(5歳以下)	対象年齢児童が1年間に利用する回数の増加を目指す。	子育て支援課
			成果	乳幼児健康診査受診率			%	目標 100.0	100	業務取得	年間の健診受診者数/年間の健診対象者数	全対象者の受診を目指す。	健康推進課
1-2	健康な心と体づくりの推進	健康推進課	成果	「保健活動・健康づくりの推進」に対する市民満足度		点	目標 増加	73.6	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	特定健康診査受診率		%	目標 43.0	50	業務取得	年間の健診受診者数/年間の健診対象者数	「第2期健康よこて21」計画と整合性を図る。	健康推進課	
			成果	各種がん検診受診率		%	目標 44.0	37.5	業務取得	年間の検診受診者数/年間の検診対象者数	令和2年度から受診率算出方法の変更に伴い、これまでの実績を基に目標値を設定。	健康推進課	
			成果	健康の駅 利用者数		人	目標 6,500	9,250	業務取得	健康の駅利用実人数 年間大規模駅100人、中・小規模駅100人増加	最終年までに対象人口の10%の利用を目指す(10%を超える)と医療費削減効果が現れると言われている。「健康の駅よこて利用者1万人計画」と整合性を図る。	健康推進課	
1-3	健康でいきいきとした高齢社会の推進	高齢ふれあい課	成果	「高齢者福祉の充実」に対する市民満足度		点	目標 増加	73.6	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	自立している高齢者の割合	在宅での生活が可能な高齢者の割合		%	目標 84.6	90.2	業務取得	重度要介護(要介護3以上)認定者を除く高齢者数 (第8期介護保険計画における推計値)	軽度の要介護状態となっても、介護サービス等を利用しながら、住み慣れた地域で暮らし続けられる体制づくりと、重度化を予防する取り組みを実施している。	高齢ふれあい課
			成果	認知症サポーター数(累計)(地域で支える人材の育成)	認知症サポーター養成講座受講者数(累計)		人	目標 8,800	14,300	業務取得	認知症サポーター養成研修受講者数	これまでの実績を基に、年間受講者数を700人に設定。第6期介護保険事業計画・高齢者福祉計画とも整合性を図る。	地域包括支援センター

第2次横手市総合計画 後期基本計画 各施策における指標一覧（上段:目標値 下段:実績値）

資料2-2

施策番号	施策名称	施策担当主務課	指標区分	成果指標				成果指標の取得方法(業務取得、アンケートなど)、算定式					指標管理課
				前期計画指標	後期計画指標	単位	令和元年度	令和7年度	取得方法	算定式・算定根拠	目標値の設定理由及び根拠		
1-4	障がい者(児)福祉の充実	社会福祉課	成果	「障がい者(児)福祉の充実」に対する市民満足度		点	目標 増加	72.0	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	地域生活へ移行することに伴う福祉施設の入所者数		人	目標 239	216	業務取得	施設入所者数	グループホーム等への移行により施設入所者を減少させる。	社会福祉課	
			成果	日常生活用具給付等事業の利用件数		件	目標 2,540	2,500	業務取得	年間の利用件数	これまでの実績を基に、第6期障がい福祉計画・第2期障がい福祉計画とも整合性を図り、現状維持で見込む。	社会福祉課	
			成果	一般就労移行者数		人	目標 21	10	業務取得	新規就労者数	障がい者相談支援事業所の増加に伴う支援強化により、一般就労移行者の維持を見込む。	社会福祉課	
			活動	障がい者相談支援事業所数	削除	か所	目標 3		業務取得	相談支援事業所数	市の委託事業所数。 その他の法人の事業所も増加している。	社会福祉課	
1-5	低所得者福祉の充実	社会福祉課	成果	「低所得者福祉の充実」に対する市民満足度		点	目標 増加	69.5	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	市民1,000人当たりの生活保護受給率(千分率)	削除	%	目標 10.0	10.0	業務取得	生活保護受給者数を市民1,000人あたりで除する。	これまでの実績を勘案し、秋田県平均以内を目標とする。	社会福祉課	
			成果	生活保護から自立世帯への移行数(死亡等による保護廃止を除く。)	生活保護から就労により自立した世帯数	世帯	目標 10	15	業務取得	稼働収入の増加による稼働収入の廃止世帯	毎年15世帯を自立させる。	社会福祉課	
			成果	就労相談・援助による就労達成率	就労相談・援助による就労達成者数	人	目標 -	25	業務取得	就労達成者	これまでの実績を勘案し、毎年25人を目標とする。	社会福祉課	
1-6	福祉を支える人材の確保と育成	社会福祉課	成果	「地域福祉の向上」に対する市民満足度		点	目標 増加	71.1	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	民生児童委員の相談指導件数	削除	件	目標 7,180	5,500	業務取得	年間の相談件数	地域支援による支え合いの成果として、減る指標値を設定する。	社会福祉課	
			成果	ボランティア団体の登録団体数(社協登録)(累計)		団体	目標 58	70	業務取得	社会福祉協議会への登録団体数	社会福祉協議会への聴取による見込数とする。ボランティア団体の育成を支援し、より多くの市民のボランティア活動参加を推進する。	社会福祉課	
			活動	避難行動要支援者の登録者名簿への登録率		%	目標 100.0	100	業務取得	避難行動要支援者の登録者名簿登録率	要支援者名簿整備の継続的な取組により最終年度には対象者全員の名簿登録を目指す。	社会福祉課	

第2次横手市総合計画 後期基本計画 各施策における指標一覧（上段:目標値 下段:実績値）

施策番号	施策名称	施策担当主務課	指標区分	成果指標				成果指標の取得方法(業務取得、アンケートなど)、算定式					指標管理課
				前期計画指標	後期計画指標	単位	令和元年度	令和7年度	取得方法	算定式・算定根拠	目標値の設定理由及び根拠		
2-1	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実	教育指導課	成果	学校が楽しいと思う児童生徒		%	目標 98.0 実績 95.22	98.0	業務取得	県学習状況調査(対象:小学4年生~中学2年生 約3,500人) 該当設問について、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えた割合	幼少期の大半を過ごす学校での過ごし方は、郷土愛の醸成に極めて大きな影響をもたらすと考え、より良い学校生活の構築を目指すための指標とする。	教育指導課	
			成果	「学校教育の充実」に対する市民満足度	2-2から移動	点	目標 増加 実績 67.3	72.2	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値(後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点~5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	不登校児童・生徒の出現率		%	目標 0.60 実績 0.99	0.9	業務取得	不登校児童数÷全児童・生徒数×100	すべての児童・生徒が楽しく学べる学校環境づくりを目指すにあたっての指標とし、不登校児童・生徒数の逓減を図る。	教育指導課	
			成果	全国学力・学習状況調査において全国平均を上回る平均ポイント数	ICTを使った授業は、よく分かって楽しいと思う児童生徒の割合	%	目標 - 実績 -	90.0	業務取得	児童生徒に対するアンケートにより算出	児童生徒の情報活用能力の育成のためにICTを授業において効果的に活用することができるようにするため	教育指導課	
			成果	「横手を学ぶ郷土学」の総合テキスト活用完全実施校数	授業においてソフトを活用した指導ができる教員	%	目標 23.0 実績 50.0	90.0	業務取得	児童生徒が互いの考えを交換、共有し話し合いができるようソフトウェアを活用した指導ができる小・中学校教員の割合	児童生徒の情報活用能力の育成のためにICTを授業において効果的に活用することができるようにするため(直接指導に携わらない教員を除く)	教育指導課	
			活動	学校給食食材の横手市産使用率(主要15品目)	学校給食食材の横手市産使用率(主要15品目)(5年平均)	%	目標 44.0 実績 39.1	45.0	業務取得	学校給食物資使用調査	県で設定している「秋田県産使用率目標値<横手市産使用率」を常に目指す。	学校給食課	
2-2	安心して学べる教育環境の整備	教育総務課	成果	「教育環境の整備」に対する市民満足度	追加	点	目標 増加 実績 68.6	73.4	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値(後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点~5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			活動	長寿命化対策(大規模改修を)実施した小中学校数(累計)		校	目標 10 実績 11	14	業務取得	建設年度から20年を経過しており、長寿命化対策を実施した小中学校数。	令和2年度末で累計12校となることから、後期基本計画期間内に1~2校を対象に大規模改修を行うことを目指し、小中学校の長寿命化を図る。	教育総務課	
			成果	学校給食の一人あたりの残食量	削除	g	目標 44 実績 48.1		業務取得	各小中学校から戻った残食量の合計÷述べ給食対象者数	給食は栄養バランスよく計算されており、残さず食べてもらうことが望ましい。H26年度を基準にし、残食量を減らす。	学校給食課	
2-3	元気なまちを築く生涯スポーツの促進	スポーツ振興課	成果	「スポーツ・レクリエーションの振興」に対する市民満足度		点	目標 増加 実績 65.8	70.7	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値(後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点~5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	成人が週1回以上スポーツをする人の割合	週1回以上スポーツをする成人の割合	%	目標 53.5 実績 41.5	50	課独自調査	秋田県スポーツ実態調査から横手市分を抽出	県の令和元年度の実績50.5%を参考に設定。	スポーツ振興課	
			成果	社会体育施設の利用者数(5年平均)	削除	%	目標 60 実績 54.4	57	業務取得	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 「非常に満足」「満足」の回答割合	現在の市民満足度から5%アップを目標とする。	スポーツ振興課	
			成果	スポーツ合宿誘致数	スポーツイベントへの協力団体数	団体	目標 45 実績 40	45	業務取得	横手市スポーツイベント等への協力団体の数	現在の協力団体数から5団体増を目標とする。	スポーツ振興課	

第2次横手市総合計画 後期基本計画 各施策における指標一覧（上段:目標値 下段:実績値）

施策番号	施策名称	施策担当主務課	指標区分	成果指標				成果指標の取得方法(業務取得、アンケートなど)、算定式					指標管理課
				前期計画指標	後期計画指標	単位		令和元年度	令和7年度	取得方法	算定式・算定根拠	目標値の設定理由及び根拠	
2-4	心を豊かにする生涯学習の推進	生涯学習課	成果	「生涯学習の推進」に対する市民満足度		点	目標 増加	71.5	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	生涯学習講座・教室の参加者数		人	目標 34,500	34,500	業務取得	社会教育施設利用状況調査数値	講座・教室の内容と周知に工夫を凝らし、参加者をR1年実績程度とする。	生涯学習課	
			成果	社会教育施設の利用者数(市民会館含む)		人	目標 550,000	450,000	業務取得	社会教育施設利用状況調査数値	より多くの市民へ利用を呼びかけ、利用者数をR1年実績程度とする。	生涯学習課	
			成果	市民会館ホール稼働率	削除	%	目標 45		業務取得	社会教育施設利用状況調査数値	市外類似施設より安い使用料をアピールし、ホール稼働率をH26年実績より10%以上増やす。	生涯学習課	
			成果	図書館入館者数		人	目標 238,000	426,000	業務取得	横手市図書館要覧統計数値	殆どの公立図書館で指標として設定しており、比較が可能。図書館サービスをさらに充実させ、入館者数の増加を図る。	図書館課	
			成果	人口に占める図書館利用カード登録者数割合	人口に占める図書館利用登録者数割合	%	目標 16.7	19.3	業務取得	横手市図書館要覧統計数値	殆どの公立図書館で指標として設定しており、比較が可能。図書館サービスをさらに充実させ、図書館利用カード登録者数の増加を図る。	図書館課	
			成果		マンガを生かした特別授業参加者の満足度	%	目標 -	90.0	業務取得	マンガを生かした特別授業の参加者にアンケート等を実施	日本一多くの漫画家のマンガ原画を收藏するまんが美術館が横手市にあるという特別な環境を生かし、マンガの魅力を活用したこどもの教育を推進する。	文化振興課	
2-5	よこての伝統文化の継承と再発見	文化財保護課	成果	「地域文化の振興」に対する市民満足度		点	目標 増加	72.4	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	資料館等・博物館の年間利用者数	資料館施設等の年間利用者数	人	目標 -	10,000	業務取得	資料館施設等利用状況統計数値	郷土資料を活用した魅力ある企画展や小中学校への総合学習の働きかけることにより、資料館施設の充実を目指し、利用者数の増加を図る。	文化財保護課	
			成果	シンポジウム・公開講座等年間参加者数	各地の歴史文化や文化財に関するシンポジウム・公開講座等の年間参加者数	人	目標 -	500	業務取得	シンポジウム・公開講座等参加者実績数値	発掘調査成果の速報や第一線で活躍する講師を招聘し、周知を徹底することにより参加者の増加を図り、また事業成果の動画配信などやPDF化資料の提供取得数など新たな参加者の増加も目指す。	文化財保護課	
			成果	国・県・市による指定登録文化財の数(累計)	国・県・市による指定等文化財の数(累計)	件	目標 282	275	業務取得	国・県・市による指定等文化財の件数。	年に2-3回の文化財保護審議会を開催し諮問を行う。	文化財保護課	
			成果	修理修景事業の年間実施件数	削除	件	目標 4	3	業務取得	事業実施の基となる申込件数	定期的な相談会及び平時の住民相談の現状により件数を想定	文化振興課	

第2次横手市総合計画 後期基本計画 各施策における指標一覧（上段:目標値 下段:実績値）

施策番号	施策名称	施策担当主務課	指標区分	成果指標				成果指標の取得方法(業務取得、アンケートなど)、算定式					指標管理課
				前期計画指標	後期計画指標	単位		令和元年度	令和7年度	取得方法	算定式・算定根拠	目標値の設定理由及び根拠	
3-1	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進	地域づくり支援課	成果	「交通安全・防犯対策の推進」に対する市民満足度		点	目標 増加	73.3	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	人口千人あたり年間交通事故死傷者数	削除	人	目標 減少	2.13	業務取得	交通統計	交通事故の減少による、安全安心な市民生活の実現を示す指標として設定し、前年度より減少させることを目標にする。	地域づくり支援課	
			成果	よこて安全・安心メール登録者数		アドレス	目標 4,865	7,827	業務取得	市が配信している「よこて安全・安心メール」の年間登録者数	地域や家庭での防犯意識の向上を示す指標として設定し、目標値は過去5年の増加傾向を参考に算定した。	地域づくり支援課	
			成果	市民を対象とした犯罪発生件数	削除	件	目標 183	129	業務取得	横手警察署の犯罪統計資料による。市民を対象とした年間の犯罪発生件数	犯罪の減少による、安全安心な市民生活の実現度を示す指標として設定し、横手警察署の犯罪統計資料を基に過去の減少傾向を勘案して算定した。	地域づくり支援課	
			成果	老朽危険空き家数		戸	目標 21	20	業務取得	令和2年度の実態調査による5年間の老朽危険空き家数の増減	令和2年度の実態調査の結果、5年間の老朽危険空き家数の増減を参考に、目標数値を定めたもの	生活環境課	
3-2	美しい自然環境と快適な生活環境の保全	生活環境課	成果	「自然・歴史的環境の保全と活用」に対する市民満足度		点	目標 増加	70.5	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	市内河川3地点のBOD環境基準値の達成率		%	目標 100.0	100	業務取得	河川の水質状況調査結果	都市河川の水質状況を調査することにより、汚染状況を把握することができる。	生活環境課	
			成果	雪中のpH値	削除	pH	目標 改善	—	業務取得	pH値の状況確認 (酸性雪の目安=pH5.6以下)	積雪中のpH値を調査することにより、大気中の汚染状況を把握することができる。	生活環境課	
			成果	自動車騒音の環境基準達成率		%	目標 98.0	98	業務取得	自動車騒音面的評価による状況確認	主要道路の自動車騒音を調査することにより、被害状況を確認することができる。	生活環境課	
			成果	こどもエコクラブ登録団体数	墓地整備率	%	目標 —	87	業務取得	墓地整備計画に基づく整備率	過去の実績を基に年間の墓地需要数を想定	生活環境課	

第2次横手市総合計画 後期基本計画 各施策における指標一覧（上段:目標値 下段:実績値）

施策番号	施策名称	施策担当主務課	指標区分	成果指標				成果指標の取得方法(業務取得、アンケートなど)、算定式					指標管理課
				前期計画指標	後期計画指標	単位	令和元年度	令和7年度	取得方法	算定式・算定根拠	目標値の設定理由及び根拠		
3-3	災害に強いまちづくりの推進	危機管理課	成果	「消防・防災体制の充実」に対する市民満足度		点	目標 増加	75.2	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			活動	耐震性貯水槽の設置数(累計)		か所	目標 実績	95 93	業務取得	消防防災震災対策現況調査(累計)	消防施設の充実を図るための指標として、消防水利の乏しい地域への耐震性貯水槽の設置数を設定し、設置場所の選定と調整、施工管理等必要な期間を考慮して、3基/年を目標とした。	消防本部	
			成果	普通救命講習の修了者養成数(累計)		人	目標 実績	47,500 45,431	業務取得	修了証の述べ発行者数の実績(累計)	救急車到着前の救護体制の充実が救命率向上に寄与するため、当該指標を設定し、過去10年間の平均実績値約2,000人/年を基礎として、養成を継続することを目指す。	消防本部	
			成果	消防団協力事業所数		事業所	目標 実績	58 60	業務取得	登録事業所実績(累計)	市内事業所等から消防団活動に対し理解と協力が得られることが地域防災力向上につながるため、事業所数が減少傾向である中でも、現状よりも増加を目標に1事業所/年の登録を目指す。	消防本部 危機管理課	
3-4	循環型社会の一層の推進	生活環境課	成果	「環境保全政策の充実」に対する市民満足度		点	目標 増加	76.1	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	ごみの総排出量		t	目標 実績	28,307 31,169	業務取得	家庭系ごみ・事業系ごみ・資源ごみの年間排出量(現状値はH30年数値) 直近値からの削減目標(4,838t)を単年毎に積算し1年につき968g削減(現状値はH30年数値)	人口予測×年度ごとの1人1日当たりのごみ排出量目標値から算出	生活環境課	
			成果	市民1人/1日当たりのごみの排出量		g/人・日	目標 実績	920 953	業務取得	直近値からの削減目標(63g)を単年毎に積算し1年につき12g削減(現状値はH30年数値)	国の第3次循環型社会形成推進基本計画における令和2年度目標値は890g/人・日が未達であることから目標値を据え置く(国第4次計画R7目標値=850g/人・日)	生活環境課	
			成果	ごみの資源化率		%	目標 実績	19.0 20.8	業務取得	直近値からの増加目標(3.2%)を単年毎に積算し1年につき0.7%増加(現状値はH30年数値)	第2次一般廃棄物処理基本計画目標値24.0%を継続	生活環境課	
			成果	エコライフ協力団体の数(累計)	削除	団体	目標 実績	98 98	業務取得	町内会・事業所の合算(累計)	環境に配慮した活動を行う事業所等を増加させ、循環型社会の構築を推進する。	生活環境課	
3-5	地球温暖化対策の推進	生活環境課	成果	横手市の二酸化炭素排出量(平成24年度末の数値)	「地球温暖化防止活動の推進」に対する市民満足度	点	目標 実績	- 67.3	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	生活環境課	
			成果	市公共施設の再生可能エネルギー導入容量(平成26年度末の数値)	市公共施設の再生可能エネルギー(地中熱利用)設備導入箇所数	箇所	目標 実績	- 2	課独自調査	庁舎等への導入実績による	庁舎等公共施設の更新の際は再生可能エネルギーの導入を推進する。	生活環境課	
			成果	市公共施設の温室効果ガス排出量		t-CO2	目標 実績	23,561 15,821	業務取得	現状値はH30年数値 省エネ法 定期報告数値	横手市地球温暖化防止実行計画(事務事業編)では平成25年度比で年1%削減を目標としている。	生活環境課	
			活動	グリーン電力の地産地消	電力の地産地消率	%	目標 実績	- 63.0	業務取得	クリーンプラザよこてにおけるごみ発電量に対する市内小中学校等公共施設での使用電力の割合(場内使用量含む)	化石燃料由来の電力の削減並びに地元で発電した電気を地元で使用する循環型社会のモデル。	生活環境課	

第2次横手市総合計画 後期基本計画 各施策における指標一覧（上段:目標値 下段:実績値）

施策番号	施策名称	施策担当主務課	指標区分	成果指標				成果指標の取得方法(業務取得、アンケートなど)、算定式						指標管理課
				前期計画指標	後期計画指標	単位		令和元年度	令和7年度	取得方法	算定式・算定根拠	目標値の設定理由及び根拠		
4-1	魅力ある農林業の振興	農業振興課	成果	「農林業の振興」に対する市民満足度		点	目標 増加	68.9	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課		
			実績	64.0										
			成果	新規就農者数(年間)		人	目標 30	30	業務取得	新規就農者数調べ	農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想に定める目標値(過去実績に基づき目標値設定)	食農推進課		
			実績	43										
			成果	農業産出額		億円	目標 256	320	業務取得	推計値(前々年度推計値3月公表)	平成30年度推計値(296億円)の約10%増として320億円に設定 ※R7の目標値(H30 296億円×110%)	農業振興課		
			実績	未確定										
			成果	農業法人数		法人	目標 99	130	課独自調査	推計値	農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想に定める目標値	農業振興課		
実績	113													
成果	担い手への農地集積率		%	目標 84.0	85	業務取得	担い手農地利用状況調査	農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想に定める目標値	農業振興課					
実績	75.2													
成果	ほ場整備率(30a以上)		%	目標 93.8	97.6	業務取得	農業農村整備事業管理計画に基づき順調に推移した割合	H28採択の栄東部地区をR3、H29採択の境町西部地区をR4、R1採択の浅舞北部・下福田地区をR6完成と見込む。	農林整備課					
実績	95.0													
活動	6次産業化に向けた商品開発等への取り組み数(年間)	横手市6次産業化支援施設を活用した取組件数(年間)	件	目標 13	150	業務取得	・横手市6次産業化推進支援事業申請件数 ・6次産業化支援施設利用件数 ・6次産業化支援窓口相談件数 ・6次産業化に関する研修・講習会開催件数	平成31年4月から園芸振興拠点センター内、6次産業化支援施設を移働したことに伴い、6次産業化に取り組む主体と販売額の増加を図り、農業者の所得向上につなげることを目指す。	食農推進課					
実績	10													
4-2	活気ある商業の振興	商工労働課	成果	「商業の振興」に対する市民満足度		点	目標 増加	66.0	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課		
			実績	61.0										
			成果	市内事業所数(卸業・小売業)		事業所	目標 1,052	1,249	業務取得	H28経済センサス 横手市商工業振興計画	商工業振興計画におけるR5(2023年)の目標値を1265事業所と設定しており、年平均で約8事業所減少見込みとなるため。	商工労働課		
			実績	1,325										
成果	起業・創業支援事業等活用による起業家数		件	目標 8	15	業務取得	起業・創業支援事業等活用による起業家数(相談件数に対する開業率 10%)	相談体制の充実と各創業支援機関との連携を強化し、創業者創出を目指す。	商工労働課					
実績	13													
活動	商い賑わい創出事業・空き店舗利活用事業の年間活用数		件	目標 24	25	業務取得	イベント等開催(新規事業含む)件数 新規開業者数	商店街及び地域商業の活性化を図るための目標値とする。	商工労働課					
実績	10													

第2次横手市総合計画 後期基本計画 各施策における指標一覧（上段:目標値 下段:実績値）

施策番号	施策名称	施策担当主務課	指標区分	成果指標				成果指標の取得方法(業務取得、アンケートなど)、算定式					指標管理課				
				前期計画指標	後期計画指標	単位		令和元年度	令和7年度	取得方法	算定式・算定根拠	目標値の設定理由及び根拠					
4-3	活力ある工業の振興	商工労働課	成果	「工業の振興」に対する市民満足度		点	目標 増加	66.9	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課					
					実績	62.0											
			成果	市内事業所数(製造業)		事業所	目標	165	181				業務取得	工業統計調査「市区町村編」	過去の事業所数は減少しているが、誘致企業の立地や起業創業による新規事業所の設置を促進し、少しでも減少数を抑える。	商工労働課	
					実績	188											
成果	工業製品出荷額	製造品出荷額等		億円	目標	1,400	1,765	業務取得	工業統計調査「市区町村編」	計画策定時の現状値と最新実績値の期間の平均伸び率を上回る目標値	商工労働課						
			実績	1,435													
		活動	ものづくり創造支援事業の年間活用数	削除		件	目標	2		業務取得	ものづくり事業化プラン開発支援補助金採択件数	事業の周知活用を積極的に推進し、企業の新たな分野に対する取組を促進させる。	商工労働課				
					実績	2											
4-4	観光・物産資源の発掘と発信	観光おもてなし課	成果	「観光の振興」に対する市民満足度		点	目標 増加	66.7	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課					
					実績	61.8											
			成果	「新たな地域産業の振興」に対する市民満足度	削除		%	目標 増加	12.9				アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 「非常に満足」「満足」の回答割合	数値での目標値を設定するには根拠に乏しいことから「増加」とする。	経営企画課	
					実績	12.9											
			成果	市内年間のべ宿泊者数			千人	目標	258				265	業務取得	市内宿泊施設聞き取りによる宿泊者数調査の実数	観光施策による地域経済効果をさらに上げるためには、日帰り客から宿泊者をより多く獲得する施策にシフトすることが重要であるため	観光おもてなし課
						実績	248										
成果	市内年間の観光入込客数			千人	目標	3,980	4,000	業務取得	各種イベント、観光施設の入込み調査の実数	観光施策による地域経済効果をさらに上げるためには、交流人口を増やすことが重要であるため	観光おもてなし課						
			実績	3,666													
成果	年間の観光入込客数	削除		千人	目標	2,610	2,650	業務取得	観光施設における定点調査の実数	観光施策による地域経済効果をさらに上げるためには、交流人口を増やすことが重要であるため	観光おもてなし課						
			実績	2,293													
成果	追加		よこてfun通信読者数		人	目標	-	13,000	業務取得	よこてfun通信読者の実数	横手の地域資源の魅力を効果的に外部発信するため	横手の魅力営業課					
					実績	9,388											
4-5	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策	商工労働課	成果	追加	「企業誘致の推進と雇用対策」に対する市民満足度		点	目標	-	62.5	業務取得	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	商工労働課			
					実績	57.6											
			成果	操業中の誘致企業数			社	目標	59	63	業務取得				誘致企業数(毎年度1社増を目標に) 横手市誘致企業一覧(企業誘致室データ)	人口減少に少しでも歯止めをかけるには、新たな就業の場の確保が重要となるため。	商工労働課
						実績	58										
成果	横手管内新卒者(高卒者)の県内就職希望者率			%	目標	63.0	65.0	業務取得	横手管内新卒者(高卒者)の就職希望者の内、県内就職希望者率 新規高等学校卒業者の求職動向報告(ハローワークより)	人口減少に歯止めをかけるため、県内就職希望者数の増加を図る。県及び近隣市町村の実績に近づける。	商工労働課						
			実績	61.3													
成果	横手管内新卒者(高卒者)の県内就職内定率			%	目標	99.0	100.0	業務取得	横手管内新卒者(高卒者)の県内就職希望者の就職内定率 新規高卒者 求職・就職決定状況一覧(秋田労働局HPより)	新卒者と企業のマッチングを図り、内定率を上昇させる。	商工労働課						
			実績	100.0													

第2次横手市総合計画 後期基本計画 各施策における指標一覧（上段:目標値 下段:実績値）

施策番号	施策名称	施策担当主務課	指標区分	成果指標				成果指標の取得方法(業務取得、アンケートなど)、算定式					指標管理課
				前期計画指標	後期計画指標	単位	令和元年度	令和7年度	取得方法	算定式・算定根拠	目標値の設定理由及び根拠		
5-1	雪国の快適な暮らしの実現	建設課	成果	「市の雪対策(道路除排雪事業)」に対する市民満足度		点	目標 増加	65.3	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	道路除雪に関する1早朝出勤日あたりの苦情件数	道路除雪に関する早朝出勤日あたりの苦情件数	件	目標 0	0	業務取得	業務集計により取得 (苦情件数/早朝出勤回数)	苦情は無くなることが目標である。	建設課	
			成果	除雪活動団体数	除雪活動団体数(補助金交付団体数)	団体	目標 308	300	業務取得	業務集計により取得	高齢化により地域の除雪活動団体の活動・存続が難しくなり団体数が減少傾向にあるが、除雪活動団体による活動範囲の拡充を図ることで団体数の減少を防ぐことを目指す。	建設課	
5-2	快適な移動空間の実現	建設課	成果	「道路網の整備」に対する市民満足度		点	目標 増加	68.4	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	道路維持管理の瑕疵により発生した事故に関する損害賠償件数		件	目標 0	0	業務取得	損害賠償件数により把握	道路利用者の安全を確保するためにも損害賠償件数はゼロを目標とする。	建設課	
			成果	1日あたりの横手北スマートインターチェンジ利用台数	横手インターチェンジ及び横手北スマートインターチェンジの1日あたりの平均利用台数	台	目標 -	6,470	業務取得	インターチェンジゲート通過台数 (根拠 R1:横手IC 5,500+横手北SIC 780、R7:横手IC 5,500+横手北SIC 970)	「東北横断自動車道釜石秋田線(仮称)横手北スマートIC実施計画書」の計画日交通量が970台となっており、R1.8の供用後、計画交通量の達成が求められている。(根拠 R1:横手IC 5,500+横手北SIC 780、R7:横手IC 5,500+横手北SIC 970)	建設課	
			活動	道路改良率(幹線市道)	幹線市道路面状況調査の実施率	%	目標 -	100	業務取得	路面状況調査により把握 (根拠 R2から5年間で100%の実施。1年に20%ずつ)	5年サイクルで100%の実施率。法令規定による点検の実施。	建設課	
			活動	橋りょう定期点検の実施率	削除	%	目標 20.00	40	業務取得	点検橋梁数により把握	点検計画による点検数量による。 (法令義務で5年サイクルで100%。R1～5年度、各年度20%ずつ進捗。) ※令和7年度はR6～10年度のサイクルで5年サイクル中40%の進捗	建設課	
5-3	市民が利用しやすい公共交通の充実	経営企画課	成果	「公共交通機関の利便性の向上」に対する市民満足度		点	目標 増加	64.5	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	民間路線バス年間利用者数		人	目標 658,900	436,100	課独自調査	羽後交通(株)のデータ	路線バスの利用者は年々減少しており、減少率を△2%に留める。	経営企画課	
			成果	循環バス 年間利用人数		人	目標 41,100	43,700	業務取得	利用実績による	循環バスの利用者は年々減少しており、現状維持に努める。	経営企画課	
			成果	デマンド交通 年間利用人数		人	目標 46,700	39,700	業務取得	利用実績による	デマンド交通の利用者は年々減少しており、現状維持に努める。	経営企画課	

第2次横手市総合計画 後期基本計画 各施策における指標一覧（上段:目標値 下段:実績値）

施策番号	施策名称	施策担当主務課	指標区分	成果指標				成果指標の取得方法(業務取得、アンケートなど)、算定式					指標管理課
				前期計画指標	後期計画指標	単位	令和元年度	令和7年度	取得方法	算定式・算定根拠	目標値の設定理由及び根拠		
5-4	地域拠点整備による市街地の活性化	都市計画課	成果	「各拠点地区の整備」に対する市民満足度		点	目標 実績	増加 64.0	69.2	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課
			成果	増田エリア内の観光客数	駅東周辺における、にぎわい再生を見据えた歩行者の増加率	%	目標 実績	- -	10%	業務取得	駅東口周辺の交通量調査結果による	これまで比較できる場所の過去3年における、歩行者の往来は年々減少しており、市街地再開発事業が完了した際には、まちなか居住エリア内の人の往来を、R1時点と比較し10%増加としたもの	都市計画課
			活動	三枚橋地区土地区画整理事業の進捗率		%	目標 実績	98.4 97.0	100	業務取得	事業完了予定までの進捗率	地区内住人の住環境の改善を行う。	都市計画課
5-5	安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理	経営管理課	成果	「上水道の整備」に対する市民満足度		点	目標 実績	増加 68.0	72.8	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課
			成果	「下水道等の整備」に対する市民満足度		点	目標 実績	増加 65.6	70.4	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課
			成果	水道水がおいしく飲める水質の達成率		%	目標 実績	92.0 80.3	92.0	課独自調査	検査を行っている浄水のうち、「おいしい水研究会」の数値基準を基とした割合	水道の安全性との見地より、研究会の水質の基準値を基に横手市独自の設定方法も採用して市民によりわかりやすく数値化した。	水道課
			成果	水道配水管等の事故件数	削除	件	目標 実績	21 32	20	業務取得	市が管理する水道管の漏水等のうち断水を伴う事故件数	急な対応を強いられ、市民への影響も大きい突発的な漏水事故などを防止するため、監視を強化するなどの対策により、現状値を減少させる。	水道課
			成果	下水道水洗化率		%	目標 実績	83.0 81.6	88.0	業務取得	下水道(公共下水道、集落排水施設や浄化槽)が利用可能な区域の居住人口と実際に利用している人口の割合	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するという観点から、水洗化人口の割合を指標とし、過年度の実績及び各種施策による水洗化人口の伸びを考慮する。	下水道課
			成果	水洗化人口		人	目標 実績	58,592 56,885	60,064	業務取得	下水道(公共下水道、集落排水施設や浄化槽)を利用している人口	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するという観点から、水洗化人口を指標とし、過年度の実績及び各種施策による水洗化人口の伸びを考慮する。	下水道課
5-6	市民がくつろげる公共空間の整備	都市計画課	成果	「公園・緑地の整備」に対する市民満足度		点	目標 実績	増加 64.3	69.1	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課
			成果	公園・緑地・遊具・街路樹の維持管理に関する要望、苦情の件数	都市公園・遊具の維持管理に関する苦情への対応率	%	目標 実績	- -	100	業務取得	本庁及び各地域局に届けられる苦情への対応したものの率を数値化	苦情は無くなることなくすることを目標とする中で、早急な対応をおこなうもの	都市計画課
			成果	市民協働により管理する公園数(公園101箇所中の協働管理数)		か所	目標 実績	53 50	55	業務取得	指定管理者及び公共施設市民サポーターが関わっている公園数	市報やホームページで公共施設市民サポーターの募集及び制度の周知に努めていく。	都市計画課
			成果	整備計画に対する市営墓地整備率	削除	%	目標 実績	88.2 85.9		業務取得	墓地整備計画に基づく整備率	過去の実績を基に年間の墓地需要数を想定	生活環境課

第2次横手市総合計画 後期基本計画 各施策における指標一覧（上段:目標値 下段:実績値）

施策番号	施策名称	施策担当主務課	指標区分	成果指標				成果指標の取得方法(業務取得、アンケートなど)、算定式					指標管理課		
				前期計画指標	後期計画指標	単位	令和元年度	令和7年度	取得方法	算定式・算定根拠	目標値の設定理由及び根拠				
6-1	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実	地域づくり支援課	成果	「市民との協働・活動支援」に対する市民満足度		点	目標 増加	69.2	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課			
			成果	共助組織団体数	自主運営組織数	団体	目標 17	28	業務取得				自主運営組織数	未実施地区(10地区)の地域住民との話し合いの場を持ちながら、準備の整った地区から組織形成を図る。	地域づくり支援課
			成果	Y2ぶらざ 市民活動センター利用者数		人	目標 80,300	80,400	業務取得				H23からの利用実績による	利用者は固定化傾向にあるものの、新規利用者の増を目指して行く。	地域づくり支援課
6-2	男女が尊重しあう社会づくり	地域づくり支援課	成果	「男女共同参画社会づくりの推進」に対する市民満足度		点	目標 増加	68.6	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課			
			成果	社会(横手市)全体として男女共同参画社会になってきていると感じている市民の割合		%	目標 増加	65.0	アンケート				H26年度数値⇒H23調査の実績値 横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課
			成果	男女イキイキ職場宣言を行った事業所数		社	目標 37	70	業務取得				横手市男女共同参画行動計画の指標値であり、取り組みによる実績値とする。	県の推進事業であるが、県と連携しながら年2か所程度の増加を目指す。	地域づくり支援課
			成果	家族経営協定を締結した農家世帯		組	目標 115	130	業務取得				横手市男女共同参画行動計画の指標値であり、取り組みによる実績値とする。	年に1、2件の増で推移しており、5年で20件、年平均4件の増を目指す。	地域づくり支援課
6-3	情報を共有する環境の整備	秘書広報課	成果	「広報・広聴の推進」に対する市民満足度		点	目標 増加	70.5	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課			
			成果	市の情報を主に市のホームページから得ている市民の割合	削除	%	目標 増加	増加	アンケート				横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 「インターネット(市HP)」の回答割合	数値での目標値を設定するには根拠に乏しいことから「増加」とする。	経営企画課
			成果	市の情報を主にコミュニティFMから得ている市民の割合	削除	%	目標 増加	増加	アンケート				横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 「横手かまくらFM」の回答割合	数値での目標値を設定するには根拠に乏しいことから「増加」とする。	経営企画課
			成果	市役所Facebookページ登録数	横手市公式SNSの登録者数	件/月	目標 増加	18,900	業務取得				令和元年度末登録者数 ・横手市公式Facebook(約9,700件) ・横手市公式LINE(約2,700件) ・横手市公式twitter(約4,700件) 合計	横手市の認知度を向上させるため、SNSを積極的に活用し、登録者数の増を目指す。	秘書広報課
			成果	増田・山内地区ブロードバンド加入率		%	目標 34	50	業務取得				令和7年5月末の加入世帯見込みによる(206世帯/412世帯=50.0%)	過疎地域・高齢世帯地域により急激な伸びは望めないため	情報政策課

第2次横手市総合計画 後期基本計画 各施策における指標一覧（上段:目標値 下段:実績値）

施策番号	施策名称	施策担当主務課	指標区分	成果指標				成果指標の取得方法(業務取得、アンケートなど)、算定式					指標管理課
				前期計画指標	後期計画指標	単位		令和元年度	令和7年度	取得方法	算定式・算定根拠	目標値の設定理由及び根拠	
6-4	市内外との交流連携の推進	地域づくり支援課	成果	「他の自治体との連携・交流の推進」に対する市民満足度		点	目標	増加	69.6	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課
					実績	64.7							
			成果	移住・定住希望者への提供情報件数	移住イベント等の参加・出展回数	件	目標	-	5	業務取得	実績による	首都圏等での移住関連イベントへの参加・出展により、移住希望者との接点を確保する。	経営企画課
					実績	4							
成果	各ふるさと会会員数に対する総会出席者の割合		%	目標	増加	40.0	業務取得	各年度のふるさと会会員数に対する総会出席率 (H26全ふるさと会会員数1,692人)	ふるさと会の会員数は年々減少傾向にあるが、総会出席率の増加を目指すことにより市内外の交流・連携の強化を図る。	地域づくり支援課			
		実績	35.5										
		活動	国際交流事業の実施	削除	件	目標	維持	2	業務取得	国際交流事業、多文化共生事業の年間実施回数	事業実施数の増は見込めないものの、確実な取り組みにより、現状値以上の事業を開催する。	秘書広報課	
				実績	2								

第2次横手市総合計画 後期基本計画 各施策における指標一覧（上段:目標値 下段:実績値）

施策番号	施策名称	施策担当主務課	指標区分	成果指標				成果指標の取得方法(業務取得、アンケートなど)、算定式					指標管理課
				前期計画指標	後期計画指標	単位	令和元年度	令和7年度	取得方法	算定式・算定根拠	目標値の設定理由及び根拠		
7-1	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進	経営企画課	成果	「横手市の取り組み全体」に対する市民満足度		点	目標 増加	68.6	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	施策の成果指標の達成率		%	目標 100.0	100.0	業務取得	総合計画基本計画の指標の達成率 年度目標達成の項目/指標総項目	指標の達成率は、施策や事業の効果測定や進捗管理に関する重要な指標であり、年度目標に対する達成度は常に100%を目指す。	経営企画課	
			成果	実施計画事業の指標の達成率	削除	%	目標 100.0	100	業務取得	総合計画実施計画事業の指標の達成率 年度目標達成の項目/指標総項目	指標の達成率は、施策や事業の効果測定や進捗管理に関する重要な指標であり、年度目標に対する達成度は常に100%を目指す。	経営企画課	
7-2	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進	財政課	成果	横手市財産経営推進計画の達成率		%	目標 100.0	100.0	業務取得	横手市財産経営推進計画 公共施設再配置方針における前期計画の年度達成率	公共施設更新費用推計と将来の財源見込を勘案し、平成28年度から15年間の更新費用を40%削減するため、公共施設の再配置方針を設定し、確実に実行する必要がある。	財産経営課	
			成果	経常収支比率	将来負担比率	%	目標 -	100%未滿	業務取得	各年度の決算による。	財政状況を把握する数値の一つとして、財政硬直化の比率を目標値として設定する。	財政課	
			成果	実質公債費比率		%	目標 9.3	10.4	業務取得	各年度の決算統計による。	実質的な公債費に費やす一般財源の比率が財政運営の一つの指標となるため、目標値として設定する	財政課	
			成果	市税の収納率 (一般会計:現年分+滞納繰越分)		%	目標 93.23	95.03	業務取得	一般会計 市税収納率 (現年分+滞納繰越分)	直近5年平均と令和元年度実績を基に目標値設定。	収納課	
7-3	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実	人事課	成果	「市職員の資質向上」に対する市民満足度		点	目標 増加	65.1	アンケート	横手市まちづくりアンケートから無作為抽出 約3,000人 ウェイト平均の100点換算値 (後期計画から算出方法変更)	6点満点中「1点～5点」と回答した方の30%をワンランクアップさせることを目指す。	経営企画課	
			成果	外部研修受講経験職員比率 (人数限定の階層別研修除く)	削除	%	目標 43.5		業務取得	人数限定の階層別研修を除く	職員全体の能力、資質の底上げを図るためには、これまで研修未受講だった職員を計画的に受講させる必要がある。	人事課	
			成果	職員研修実施のための内部講師数		人	目標 20	58	業務取得	東北自治研修所 研修講師養成研修の修了者等	より多くの職員に研修受講機会を与えるためには内部研修の充実が必要であり、一定数の講師を確保する必要がある。	人事課	
			成果	女性の管理職職級昇任昇格試験受験率 (対象者に占める受験者の割合)		%	目標 39.0	40	業務取得	対象者に占める受験者の割合	様々な施策推進のためには女性視点も重要であり、行政経営に携わる自覚、管理職を目指す意識付け、意識改革が必要である。	人事課	
			成果	年次休暇の平均取得日数の増加		日	目標 -	14	業務取得	職員の年次休暇平均取得日数	職員が能力を発揮するためには、年次休暇を活用し心身ともに健康を保持して職務に精励し、家庭生活との両立を実現する必要がある。	人事課	